

# 玉北小だより



小美玉市立玉里北小学校

学校通信 No.7

令和元年6月13日

♡♡♡ みんなの夢を育てよう

「未来の木」 ♡♡♡

## なりたい自分になる!!

4月からコツコツと作り上げてきた「夢のなる未来の木」。葉っぱに一人一人の夢を書き、木にはりつけて、完成しました!

「なりたい自分」をイメージし、その実現のために、今、自分に必要なことは何かをきちんと自覚しておくことは大切なことです。

葉っぱに書かれた夢は、どれも素敵なものばかり!

この木を作成した背景には、玉里学園に統合した後も、北小の誇りをもって、一人一人が輝いてほしいという願いもあります。

来校の際は、お子様の書いた葉っぱをぜひ見つけていただき、ご家庭での話題としていただければ幸いです。



お耳 拝借!

## 【叱ることは ほめること?!】

子どもは成長途中ですし、生活体験も少ないので、自分の衝動に勝てず、正しくない行動をしてしまうことがあります。そんなときは、近くにいた大人が注意しなくてはなりません。

叱り方の3点セットは、①まず、相手の「悪いところをハッキリ指摘し」、②次に「直す方法を教え」、③最後に「それでいいか、直ったかどうか、OKかNGかをきちんと伝える」ことだと言われています。

アーティストックスイミング(ツカサドスイミング)の井村コーチは、かつては「ダメだ!」としか言わなかった指導法を時代の変化と共に変化させ、どこを直すべきかをきちんと伝えていると言います。「叱るだけで、直す方法を言わなかったら、選手は自信をなくすだけ」だからだそうです。トップスイマーでさえ、そうなのです。

さらに、学校ではこう付け加えます。「今まで何千人という生徒を見てきたけど、〇〇さんのように、失敗したと思ったら、いけないと思ったら、そこからやり直せる人は必ず素敵な大人になれます。本当です!」・・・叱られていたのが、いつの間にか誉められています。すると、反抗的な態度がみるみる柔らかくなっていきます。

「やってみせ 説いて聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」(山本 五十六)